

阿波市議会だより

第48号

年4回発行
【平成30年9月1日】

発行／阿波市議会 編集／議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

平成30年第2回 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、5月28日から6月19日までの23日間の会期で開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、四国市議会議長会から江澤信明議員、木村松雄議員、森本節弘議員、榎原伸議員が表彰されました。

続いて藤井市長から、合併特例債の発行期限延長や活用、阿波市公共施設個別管理計画、徳島自動車道付加車線設置事業、阿波オーブンガーデン2018、阿波市戦没者追悼式、阿波市消防団操法大会等についての行政報告と、四国市長会議における国への要望事項や、知事・市町村長会議での意見交換についての説明がありました。

また、平成30年度一般会計補正予算、条例の一部改正等の議案について説明がありました。

代表・一般質問は6月7日から8日の2日間に行われ、13人が市政全般について理事者の考えを問い、子育て支援・教育・福祉・防災・建設・農業関係、財政等について議論しました。

13日に文教厚生、14日に総務、15日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決しました。

追加議案として、人事案件1件が提出され適任としました。

平成30年第2回 阿波市議会臨時会の概要

第2回臨時会が8月8日に開かれ、阿波市営住宅大野神団地改築工事請負契約の締結に係る市長提出議案の概要と提案理由の説明があり、可決されました。

また、これからの重点をおくこと。また、これからの重点をおくこと。また、これからの重点をおくこと。

【答】 移住の推進や仕事づくり、子育て支援、安心・安全などの分野を4つの基本目標として掲げ、重点的に取り組んでいる。重点課題として、「財源」「継続」「連携」の3点が地域の活性化に欠かせない。

【問】 入浴助成券は、今後研究・検討する。交通手段の確保は、デマンド型乗合交通を来年4月から実験運行し、3年後の2021年から本格運行に取り組む。

【問】 久勝保育所から1・5キロしか離れていない乳児・児童が八幡認定こども園に転入された。新しく認定こども園として生まれ変わるが、地元の受け入れはどのようにするのか。

【答】 久勝認定こども園は、引き続き民間運営とし、また、施設面積を広げ定員の120%まで保育可能とし、保護者のニーズに応えられるよう努める。

【問】 平成28年度末の国保会計の基金には5億6千万円の積み立てがあったが、どのように活用していくか。

【答】 一般会計から繰り入れていた3億6千万円を繰り戻し、平成29年度末の基金残高は3億2千万円となっている。今後も最低限必要な基金額を保有し、国保事業の健全な運営に努めたい。

【問】 本市の国保税の滞納世帯数の状況、短期被保険者と資格証明書の発行数と割合を教えてください。

【答】 本年5月末現在の滞納世帯数、803件、全体の14.8%で年々改善している。短期証は4、5月で311件、全体の5.7%を交付。資格証明書の交付はない。

【問】 保育料の無料化について、平成29年第4回定例会で「実施時期を検討することが望ましい」という考えだったが、その後の進展は。

【答】 政府において、来年10月から3・5歳児までの教育・保育の無償化及び0・2歳児までの保育料は住民税非課税世帯に限り無償化する方針が示されている。

【問】 給食費の無料化について。

【答】 本市の給食費は、食材購入費のみを保護者負担とし、保護者負担の軽減を図っている。仮に小・中学生の給食費を無料化すると、1億3千万円が必要となる。この負担は財政運営への影響が大きく、慎重な議論が必要である。

【問】 近隣住民への配慮として騒音、プライバシー保護、道路整備等は計画されているのか。

【答】 議員各位が使用している駐車場は、来賓用やイベント車両の駐車場として開放している。また、公用車の小型化も検討していく。

【問】 阿波市役所裏側に計画中のセンターパークについて、議員専用の駐車場の開放や公用車両の小型化・共有化の推進を行った上で計画を進める必要がないのか。

【答】 近隣住民への配慮として騒音、プライバシー保護、道路整備等は計画されている。また、公用車の小型化も検討していく。

【問】 阿波市役所裏側に計画中のセンターパークについて、議員専用の駐車場の開放や公用車両の小型化・共有化の推進を行った上で計画を進める必要がないのか。

【答】 近隣住民への配慮として騒音、プライバシー保護、道路整備等は計画されている。また、公用車の小型化も検討していく。

代表質問

三浦 三二 議員 (阿波みらい)

今後、用地取得が完了している吉野工区は構造物工事等を推進し、用地取得が完了していない吉野延伸工区は用地取得を優先に取り組んでいく。

【問】 吉野町柿原地区の農地放棄地について。

【答】 本市における耕作放棄地は5年間で15%増加しており、吉野町柿原地区においても増加傾向にある。農地に雑草が繁茂し、害虫等により周辺地域に支障が生じる場合には適正に管理していただけるよう所有者に対し通知等により依頼している。

一般質問

川人 敏男 議員 (市政刷新の会)

【問】 長寿祝い金について、現在の運用と実績は。また、当事業の見直しを実施し、その財源を他の事業に活用してはどうか。

【答】 祝いの支給要件は、77歳以上で本市に1年以上の居住者が対象となり、事業実績は平成29年度で5、668人、約3、717万円となっている。

また、事業見直しにより財源が確保されれば、地域公共交通網の形成に活用したい。

一般質問

松村 幸治 議員 (阿波清風会)

【問】 他市に先駆けた「阿波市の英語教育」について、本市の導入経緯並びに、現在の取り組み状況、また、今後どのように取り組んでいくのか。

【答】 平成18年度から、いち早く小学校で英語活動を実施するため、英語指導講師を全小学校に派遣してきた。今年度から、小学校高学年において、英語の教科化の先行実施に取り組んでいる。授業研究や指導力研修を実施し、更なる英語教育の充実を図っていく。

一般質問

後藤 修 議員 (無所属)

【問】 デマンドバス(タクシー)の乗車定員は何名程度になるのか。

【答】 移動需要の状況を踏まえ、交通事業者との協議を進めている中で決定していきたい。

【問】 高齢者・交通弱者に配慮した、ドアツードアの輸送が可能なのか。

【答】 未改良区間が多く残っているのが現状で、今後は事業推進に向け、工夫を凝らして取り組んでいく。また、「伊沢谷簡易

一般質問

坂東 重夫 議員 (無所属)

【問】 「安全で安心なまちづくりに」防犯カメラの設置をしてはどうか。

【答】 「防犯カメラ」の設置は、「地域」の補完となり、特に登下校中の児童や生徒を犯罪事故被害から守るための抑止力として、通学路は優先して設置を検討する。

【問】 「辺地対策事業総合整備計画」の進捗状況と老朽化に伴う「伊沢谷簡易水道」の施設整備について。

【答】 未改良区間が多く残っているのが現状で、今後は事業推進に向け、工夫を凝らして取り組んでいく。また、「伊沢谷簡易

一般質問

笠井 一司 議員 (志政クラブ)

【問】 人口減少が続く中で、阿波市ではどのようなことを行政の課題として捉え、どのような施策を考えているのか。また、これからの財政運営は。

【答】 社会保障費の増大によるこれまでの行政サービスの維持が困難になる可能性や後継者不足による産業の衰退、空き家の増加、晩婚化・非婚化の進行などの課題が見込まれるため、「総合戦略」を策定し、社会減に對しては雇用の場の創出、自然減に對しては様々な子育て支援策を講じている。将来の財政見通しについては、限られた財源を効果的な施策に振り向け、持続可能な財政運営に努める。

【問】 阿波市公共施設個別管理計画はどのような視点で策定したのか。総合管理計画での予測値に對しどのように改善したのか。他の個別管理計画の策定はどのように進んでいるのか。

【答】 今回の個別管理計画は、建物264施設を対象とし、今後使用する施設は長寿命化工事を実施しライフサイクルコストの低減を図り、その他の建物は、統廃合・譲渡・貸付・除却を考へ、総合管理計画に比べ年平均で3.3億円の削減が図られた。他の個別計画は、「橋梁長寿命化修繕計画」「市道舗装長寿命化修繕計画」「市営住宅ストック総合管理計画」「上水道基本計画」により進める。

【問】 今年度の組織改正は、大きな組織改正となっているが、その内容と目的を伺いたい。

【答】 「総合戦略」など重点施策の着実な推進のため新しい部署・課・室を設置した。

【問】 合併特例債適用の期限の再延長により、より安定した活用が図られることとなったが、こ

一般質問

中野 厚志 議員 (日本共産党)

【問】 平成28年度末の国保会計の基金には5億6千万円の積み立てがあったが、どのように活用していくか。

【答】 一般会計から繰り入れていた3億6千万円を繰り戻し、平成29年度末の基金残高は3億2千万円となっている。今後も最低限必要な基金額を保有し、国保事業の健全な運営に努めたい。

【問】 本市の国保税の滞納世帯数の状況、短期被保険者と資格証明書の発行数と割合を教えてください。

【答】 本年5月末現在の滞納世帯数、803件、全体の14.8%で年々改善している。短期証は4、5月で311件、全体の5.7%を交付。資格証明書の交付はない。

【問】 保育料の無料化について、平成29年第4回定例会で「実施時期を検討することが望ましい」という考えだったが、その後の進展は。

【答】 政府において、来年10月から3・5歳児までの教育・保育の無償化及び0・2歳児までの保育料は住民税非課税世帯に限り無償化する方針が示されている。

【問】 給食費の無料化について。

【答】 本市の給食費は、食材購入費のみを保護者負担とし、保護者負担の軽減を図っている。仮に小・中学生の給食費を無料化すると、1億3千万円が必要となる。この負担は財政運営への影響が大きく、慎重な議論が必要である。

一般質問

後藤 修 議員 (無所属)

【問】 デマンドバス(タクシー)の乗車定員は何名程度になるのか。

【答】 移動需要の状況を踏まえ、交通事業者との協議を進めている中で決定していきたい。

【問】 高齢者・交通弱者に配慮した、ドアツードアの輸送が可能なのか。

【答】 未改良区間が多く残っているのが現状で、今後は事業推進に向け、工夫を凝らして取り組んでいく。また、「伊沢谷簡易

水道」については、施設の状況調査の結果に基づき、今後のようにすべきか検討していく。

問 「国民健康保険税率」の改正の経緯、医療費適正化事業の取り組みについて。

答 税率の決定については、制度の改正により、県が県内市町村ごとの「標準保険料率」を試算、公表し、これを参考に決定した。本年度より、新規事業として「阿波市健康ポイント事業」に取り組む等、積極的に市民の健康づくりを展開し、健康維持に努めていく。

藤本 功男 議員
(無所属)



問 「災害に強いまちづくり」について、市長の基本的な考えを伺いたい。

答 大規模災害への対応力の強化を図るため、ハード・ソフト両面の施策を推進している。ハード面では、緊急対応の要となる市本庁舎、交流防災拠点施設アエルワ、学校給食センター、耐震性貯水タンクなどを整備している。また、ソフト面においても、自助、共助、公助の強化を目的とした取り組みを加速している。

問 ホームページに防災や災害に関する情報を掲載している。今後は見やすく、利用しやすいホームページ画面に改善し、防災意識の高揚に努めていきたい。また、災害時には、市役所庁舎を基地局としたFMラジオ放送でリアルタイムに必要な情報を発信していきたい。

問 学校における防災教育の現状と課題について、そして、今後どのような内容に力点を置いて、防災教育を推進していくのか。

か。

答 地震など災害時における危険を認識し、状況に応じて的確な判断と行動がとれること、また、災害や防災についての基礎的・基本的な事項を理解することなどを培っている。今後、防災計画の見直しや実践的な防災訓練の手法を浸透させたい。

笠井 安之 議員
(無所属)



問 新規就農者のための農業技術向上を目指す相談所の設置と農業アドバイザーの委嘱はできないか。

答 「農業次世代人材投資事業」の交付対象となっている新規就農者に対して平成29年度から専属の担当者を決め相談等のサポートを実施している。

問 農業従事者の高齢化に伴う担い手不足解消のための方策について。

答 「阿波市就農スタート研修事業」を昨年度から実施するとともに「阿波市新規就農経営安定支援事業」の実施による園芸用施設整備・農業用機械の導入費等の支援や国の制度である「農業次世代人材投資事業」を活用している。その結果、現在46名の新規就農者が誕生している。

問 藤井市長就任以来の農業に対する取り組みと1年間の実績は。

答 市長就任以来、「第1次阿波市農業振興計画」の進捗状況と検証を行い、消費拡大、担い手の確保、販路拡大などの問題に対応するため「第2次阿波市農業振興計画」を策定した。これにより、「農業立市」としての強みを最大限に発揮し、計画的な施策の展開を行うことにより本市農業のステップアップを図っていく。

武澤 豪 議員
(無所属)



問 阿波市スマートインターの進捗状況について、スマートインター設置の重要性は多岐にわたる。①全国に誇れる農業市でもある阿波市の農産物や加工品の輸送メリット、②東部DMOによる徳島県の阿波市の観光を進めるうえで必要不可欠、③災害時の一時避難場所としての利用、④隣接する吉野川市からの利用による農産物、加工品などの販売による活性化、である。これらの4つを踏まえ、進捗状況を教えてほしい。また、市民の皆様にも納得のいく情報開示をお願いしたい。

答 スマートインターの整備は、第2次阿波市総合計画にも示されており、フルインターにとらわれないことなくハイインターも選択肢の1つとして引き続き検討を進め整備実現のため、取り組みを進める。また、平成18年に地域活性化インターチェンジ設置特別委員会を設立し、行政視察や国土交通省、関係機関などに要望活動を行った。徳島自動車道の構造や地形の関係から整備事業費がかさむため、現時点での整備位置決定には至っていない。しかし、地域活性化には欠かせない重要施策である。スマートインター設置と合わせ、4車線化の実現にも努めていきたいと考えている。

問 障がい者の移動支援事業について、個別支援型と車両型の2つがあり、個別支援型は、1カ月6回(上限30時間)までとなっている。車両型は、福祉自動車による移動支援で、1カ月3回までとなっている。それらの回数(上限)を拡充しては。

答 利用状況は、平均すると両者とも上限を下回っている。現時点での拡充は難しい。来年度より、高齢者を含む交通弱者の移動を確保する公共交通デマンド型が運行する計画となっており、そこでの利便性を図っていく。

問 公共交通デマンド型の中身を議論していただき、今後の政策・施策の充実を強く要望する。

木村 松雄 議員
(志政クラブ)



問 市道矢松〜田中線拡幅工事の進捗状況と今後の予定について。

答 土成町を走る本線は、主要地方道鳴門池田線と一般県道船戸切幡線を結ぶ南北市道で、延長約860メートル、幅員7メートル片側歩道付きの道路整備を計画している。現在は事業実施に向けた地元説明会の開催準備を進めている。順調に用地取得が進めば、平成32年度から工事着手できる。工事期間は概ね4年間での完成を目指している。

問 企業誘致に対する市の取り組みや雇用対策に万全を期して若者が定住できる環境づくりに対して市の考えは。

答 新たな雇用の機会を増やして働く場所を確保することによって、若者などの定住化を促進させるとともに、人口減少問題の克服が期待できる。大規模な工業団地については、用地の確保等から大変難しい状況である。



北上 正弘 議員
(公明党)

問 関係部局が連携し、全庁一丸となって取り組んでいく。

問 県管轄の河川等の管理について、河川内外の立木等は県に管理の要請をどのようにしているか。

答 県と市が十分に連携を図りながら、市内を流れる河川の管理区分に関係なく、適正な河川の維持管理が図られるよう取り組んでいく。

問 農地遊休荒廃農地について、平成28年度は4町で882、324平方メートル、筆数で1、388件、平成29年度が4町で1、003、966平方メートル、筆数で1、618件あるが、今後どのように解決するのか。

答 平成26年度から開始された「農地中間管理事業」を活用し農地集積を進めており、「中山間地域等直接支払制度」や「多面的機能支払交付金制度」を活用して農地の適切な維持と遊休農地や荒廃農地の解消に役立っている。



榎原 賢二 議員
(阿波みどり)

問 吉野川北岸用水について、完成後30年余りになるが、香川用水は多目的用水であるがゆえに、10アール当たり賦課金が1、200円である。北岸用水は10アール当たり3、400円、3、740円である。市民より強い苦情が発生しているが解決はどのようにするのか。

答 香川用水は北岸用水と違い、農業用のほか工業・上下水道用にも利用されており、賦課金に差が出る要因となっている。北岸用水では老朽化対策工事や調整池の新設・拡張を行うための調査を実施しているが、今後農家に対する賦課金を現行以上に増額しないよう国に要望したい。

問 旧4町の合併前と合併後の北岸用水への負担金はいくらか。合併前の平成2年度〜16年度の合計は約34億6千8百万円で、合併後の平成17年度〜26年度の合計が約13億6百万円となっており、総合計で約47億7千

活動状況報告

●委員会等の開催状況(6月〜8月)

- 平成30年6月7日 第2回阿波市議会定例会本会議(代表・一般質問)
- 8日 (一般質問)
- 全員協議会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 14日 総務常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 19日 第2回阿波市議会定例会本会議(閉会)
- 8月1日 議会運営委員会
- 8日 第2回阿波市議会臨時会本会議
- 全員協議会
- 27日 議会運営委員会



平成30年第3回定例会は9月3日(月)開会の予定です。詳しい日程は、議会事務局議事総務課(0883-36-8750)までお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか

議会の本会議は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。事前の予約はいりません。傍聴を希望される方は、当日、市役所本庁3階にお越しください。37席の傍聴席と、車いすのまま傍聴していただけるスペースがあります。傍聴席入口で「阿波市議会傍聴人名簿」に氏名、住所を記入後、ご入場ください。また、市役所本庁1階・市民情報スペースの大型テレビで議場内を生中継しています。どうぞお気軽にお越しください。

**平成30年第2回 阿波市議会定例会
議案番号及び議決結果一覧表
(5月28日〜6月19日)**

議案番号	議案名	議決結果
議案第37号	吉野中学校校舎大規模改修その他工事請負契約の締結について	原案可決
議案第32号	平成30年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第33号	平成30年度阿波市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第34号	阿波市税条例の一部改正について	原案可決
議案第35号	阿波市人権尊重のまちづくり条例の制定について	原案可決
議案第36号	阿波市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
報告第2号	平成29年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第3号	平成29年度阿波市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第4号	平成29年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
議案第38号	教育委員会委員の任命について	同意

**平成30年第2回 阿波市議会臨時会
議案番号及び議決結果一覧表
(8月8日)**

議案番号	議案名	議決結果
議案第39号	阿波市営住宅大野神団地改築工事請負契約の締結について	原案可決

議会だより

編集雑感

「政治とは」
人と人との絆が弱くなり、想定外の事件に直面したとき、市政の背後にある「国」という大きな力を感じる。国政の「不誠実」を押し通す姿勢に失望感を覚える。

「ペン」は剣よりも強し」
阿波中学校の校章にはペンのマークがあり、議員の活動にも執筆に関することが意外と多い。ペンのように平和と文化活動のシンボルを大切にしながら、人権と民主主義を啓発していきたい。
(中野厚志)